

佳果子の
血の色
医者と
やのどえり



朝日
透ける
ふんわり
かづら



眼ぶみす身もまみす
寝たまりのまに
鯉のぼり
しなのたかい
夢に泳ぐの



「大丈夫」もお祈りですね

小児科医・細谷亮太の
「いのち」を見つめるコトバたち

大丈夫。

「大丈夫。」は小児科医・細谷亮太さんの口グセです。診察を終えた病気の子どもたち二人ひとりに必ずそのひと言を添えて、励まします。それは、40年来、小児がん治療の最前線で子どもたちの「いのち」と向き合い続けてきた、細谷先生の自分自身への、励ましのコトバなのかもしれせん。

「小児がんの子どもたちの7割から8割が治るようになっていくこと、しかし、その事実があまり知られていないことが、治った子どもたちの生きにくさに繋がっていること」を知ってもらうために、十年以上の歳月を経て、映画「風のかたち」小児がんと仲間たちの10年」を完成させました。そして、編集室には膨大な未使用の映像が残されました。何しろ1000時間にも及ぶ映像を1時間45分にまとめたのですから……
その中でもほとんど使われなかったものに、先生へのロングインタビューがありました。全部で20時間程の「いのち」を見つめたコトバたちです。

「朝顔の花数死にし 子らの数」(呪々)

病気の子ども達との40年にわたる日々を綴った、細谷亮太(先生の俳号)の二冊の句集をめぐりながら「風のかたち」に続く姉妹作「大丈夫。」を創ろう、という思いが湧き上がりました。

映画「大丈夫。」小児科医・細谷亮太の「コトバ」は、些細なことにメゲて落ち込んでしまう癖のある私や、映画を観るひとりひとりへの、励ましのひと言です。それは、細谷先生の「コトバ」を借りて、沢山の子どもたちの心が語りかけてくれている、お祈りなのかもしれせん。映画を観終えたら、貴方も誰か他の人に「大丈夫。」と言いたくなるにちがいないとせん。

伊勢真(かんとく)

出演—— 細谷亮太(聖路加国際病院)
協力—— スマートムンストン 聖路加国際病院
細谷医院 財団法人がんなの子供を守る会
毎日新聞社 キープ自然学校
そらぶちキッズキャンプ
石本浩市(あけぼの小児クリニック)
月本一郎(済生会横浜市東部病院こどもセンター)
本橋由紀 中島晶子 近藤博子
鈴木彩 渡邊輝子 横川めぐみ
キャンプに参加した子どもたち
鈴木珠生 川田智之
中川太朗 高遠翼
清水晶子

撮影—— 石倉隆二 世良隆浩
照明—— 箕輪栄一
音響構成—— 渡辺丈彦 録音—— 永峯康弘
編曲—— 横内丙午 チェロ演奏—— 白神あき絵
編集技術—— 田辺司 題字—— 細谷亮太
撮影協力—— 内藤雅行 田辺司 東志津 宮田八郎
制作—— 米山靖 助川満
宣伝デザイン—— 森岡寛貴(ジオングラフィック)
上映デスク—— 保田則子 スチール—— 坂井信彦
製作協力—— ヒボコミュニケーションズ 一隅社
製作—— いせFILM
スマートムンストン関連映画製作委員会
演出—— 伊勢真一

細谷 亮太 (ほそや りょうた)

小児科医 聖路加国際病院副院長
1948年山形県生まれ。小児がんの子どもたちの治療にたずさわると同時に、子どもたちとのキャンプ活動や執筆活動にも取り組む。主な著作は「いつもいいことさかし」(暮らしの手帖社)「生きるために一句」(講談社)「生きようよ」(岩崎書店)など。句集に「桜桃」「二日」がある。

伊勢 真一 (いせ しんいち)

ドキュメンタリー映像作家
1949年東京都生まれ。「奈緒ちゃん」「ありがとう」「えんとこ」「風のかたち」をはじめ、多くのヒューマンドキュメンタリーを製作。近年は若手の作品プロデュースも積極的に手がけている。日常をふんわりと映し出す映像の中に、生きることの素晴らしさが込められた独特の作風で知られる。

お問合せ

いせフィルム(2011年2月14日より住所が変更になります。) 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-3-7 青山Nブリックビル3階
TEL 03-3406-9455 FAX 03-3406-9460 HP <http://www2.odn.ne.jp/ise-film/> E-mail ise-film@rio.odn.ne.jp